

Combining carbon-ion irradiation and PARP inhibitor, Olaparib efficiently kills BRCA1 mutated Triple-negative breast cancer cells

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 河西, 美貴 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00033285

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 764 号	氏 名	河 西 美 貴
審 査 委 員 会	主 査 教 授	神 尾 孝 子	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>トリプルネガティブ乳癌 (TNBC) は予後不良であり、有効な治療法が模索されている。PARP 阻害剤は BRCA 変異型の TNBC に対する有望な治療薬の一つであり、また、炭素イオン線治療は効果的に DNA 損傷を誘発することが知られている。本研究では、BRCA 1 野生型 (MDA-MB-231) および BRCA1 変異型 (HCC1937) の TNBC 細胞株を用い、PARP 阻害剤オラパリブと炭素イオン線、または X 線の併用の有用性が検討された。</p> <p>HCC1937 において、炭素イオン線は X 線に比してより多くの DSB を誘導し、またより低濃度のオラパリブで増感効果を示した。MDA-MB-231 では併用による効果を認めなかった。本研究により、BRCA 変異型 TNBC 細胞において炭素イオン線照射が有意な DSB をもたらし PARP を高発現させることが実証され、炭素イオン照射と PARP 阻害剤の併用が BRCA 変異型 TNBC に対する有望な治療法となる可能性が示された意義は大きいと考える。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			